

## 茶ぐわゆるんたく



158

デイゴの花を思い浮かべて  
 県道81号線・でいご通り

上の写真は、1966（昭和41）年、  
 普天間三叉路からでいご通りをみた  
 風景です。当時は写真に写っている  
 映画館「グランドパレス」やホテル、  
 大型レストランなどが並び、多く賑  
 わっていた通りです。でいご通りは、  
 普天間にあったマツ並木に憧れ、マ  
 ツに代りデイゴを街道に植えて沖縄  
 の観光名物にしようと、地域でパン  
 屋を営んでいる方が1964（昭和  
 39）年に取り組み始めたことが名称  
 のきっかけでした。思わず、デイゴ  
 の花いっぱい鮮やかな通りを想像  
 しますね。



▲でいご通り（普天間）1966（昭和41）年  
 写真の左側に「グランドパレス」の看板が見えます。

下の写真は現在の様子です。映画  
 館はなくなっていますが、当時の面  
 影を感じます。通り沿いには古着屋  
 やカフェなど、お洒落なお店が並び、  
 若い世代に注目の場所となっていま  
 す。また市内商店街で構成する「で  
 いご通り会」は、2015（平成  
 27）年に「ぎのわんヒルズ通り会」  
 と名称を変更し、活動を再開してい  
 ます。現在街道には、マツやモモタ  
 マナが植え付けられています。写真  
 の場所にデイゴはありませんが、車  
 で通る際や歩く機会がありましたら、  
 当時の雰囲気想像しながら通  
 ると面白いですね。



▲現在の様子 2017（平成29）年

### 【問合せ】

市立博物館 ☎870-9317

## ぎのわんの 歴史・文化遺産 を歩く

—其の32—

はじめに

今回は市内でも比較的新しい時期  
 に来た字上原・字中原・字赤道・  
 字愛知・字志真志の遺跡をいくつか  
 紹介したいと思います。

### ぎのわんの屋取集落

市内には、約四五〇年頃前にはす  
 でに存在していた集落があります  
 が、右に挙げた地域は約二〇〇〇三  
 〇〇年頃に人々が住み始めてでき  
 た集落であるといわれています。こ  
 れらの集落は、琉球王国時代の土族  
 層が新たな生活を求めて首里や那覇  
 を離れ、各地に移り住んだことでつ  
 くられた集落であり、これを「屋取  
 集落」といいます。

### 屋取集落以前の遺跡

では、屋取集落ができる以前は一  
 切の人が立入らない場所だったの  
 でしょうか？結論から言うと、そう  
 もなかったようです。たとえば、先  
 に挙げた五つの字でも複数の遺跡が  
 把握されていますが、中でも赤道渡  
 呂寒原洞穴遺跡、愛知ウフドーモ  
 遺跡、志真志大久保原遺物散布地な  
 どは縄文時代の後期や晩期頃に相当  
 する遺跡となっています。また、上  
 原仲毛原遺跡、中原同原遺跡などは

約五〇〇年頃のグスク時代につく  
 られた遺跡であることが想定されて  
 おり、屋取集落ができる前にも当時  
 の人々が何らかの活動をしていたこ  
 とが分かります。一方で、字長田に  
 は今のところ遺跡の確認がされてい  
 ないのですが、メーミージガーや  
 カッチンダーガーなどの湧水が文化  
 財として把握されているので、将来  
 の遺跡が見つかる可能性があります。  
 す。

### 遺跡と開発工事

これらの遺跡については所在が把  
 握されているのですが、発掘調査な  
 どが未実施であるため各遺跡の詳し  
 い情報は分かっています。遺跡の  
 ある場所に開発工事の計画がされた  
 ときに開発者側と遺跡の取扱いを協  
 議し、場合によっては発掘調査を  
 行って遺跡の記録をとることに  
 なります。発掘調査によって得られた記  
 録は、整理をしたのちにその情報を  
 地域の皆さまにお伝えし、皆さまが  
 歴史や文化を学習する際の生きた教  
 材として活用されることになりま  
 す。開発工事などを予定されている  
 方には、その場所に遺跡が所在して  
 いないかのご確認をしていただい  
 ておりますので、ぜひ文化課までお問  
 い合わせください。

【問合せ】 文化課 ☎893-4430